

岐南町横断歩道橋長寿命化修繕計画

横断歩道橋長寿命化修繕計画

本町では、高度経済成長期の人口増加に伴うインフラ整備（道路整備）で、横断歩道橋橋梁を建設しました。

これらの横断歩道橋は、今後、老朽化が進み、補修や更新に対する費用の増加が見込まれます。

このことから、横断歩道橋の効率的・効果的な維持管理を行うため、定期点検の実施や維持補修工事を計画的に進めるべく、横断歩道橋長寿命化修繕計画を策定しました。

横断歩道橋の点検

横断歩道橋を効率的に維持管理するには、横断歩道橋の劣化・破損状況を調査し的確に把握することが必要です。

平成 26 年 3 月に道路法が一部改正されたことに伴い、国が定める統一的な基準により 5 年に 1 回、近接目視による点検が義務付けられました。

本町では、横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づいて各横断歩道橋の定期点検を実施するとともに、健全性を診断し横断歩道橋の状態を把握しています。

健全性の診断区分

区 分		状 態
I	健 全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態
IV	緊急処置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずるべき状態

横断歩道橋の修繕計画

本町では、点検結果に基づき、従来の事後的な維持補修から予防保全的な維持補修へと整備方針の転換を行い、効果の高い新技術・新工法の導入を検討し、横断歩道橋の維持補修・更新に掛かる費用の縮減、平準化を図りながら、横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づいて計画的に修繕工事を実施しています。

※新技術の活用方針

新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、新技術及び新工法等の活用を検討し費用縮減を図ります。具体的には、令和 11 年度までに修繕対象となる 1 橋において約 200 千円のコスト縮減を目指します。

※集約化・撤去・架替えに関する検討

管理する横断歩道橋については、近隣の保育園、小中学校の児童生徒の日常的な利用があり、歩行者の安全確保の観点から、基本的には集約・撤去は困難であると考えられるため、現時点では集約化・撤去の計画はありません。将来、学校再編等による通学路の変更等があった場合、撤去を検討します。

今後の取組み

横断歩道橋長寿命化修繕計画に基づいて点検や工事を実施し、その結果を横断歩道橋長寿命化修繕計画に反映させ継続的に更新することにより、効率的・効果的に橋梁の維持管理を行います。

岐南町が管理する歩道橋の長寿命化修繕計画一覧表

NO	横断歩道橋名	路線名	所在地	架設年度	橋長 (m)	幅員 (m)							点検記録			概算事業費 (百万円)	補修対策内容 (要修繕箇所)
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	最新点検 年次	判定区分	次回点検 年次		
1	北組横断歩道橋	岐阜環状線	羽島郡岐南町八剣北	不明	34.8	1.20			○				R6	Ⅱ	R11	0.3	断面修復工（橋台部にアンカーボルトの露出が生じている）
2	徳田4横断歩道橋	岐阜岐南線	羽島郡岐南町徳田	2010	88.7	3.00			○				R6	I	R11	0.0	
3	岐南中学校前歩道橋	岐阜岐南線	羽島郡岐南町徳田	2018	94.1	3.00			○				R6	I	R11	0.0	

※修繕計画については、各年度の法定点検結果や予算措置状況等に応じて見直すことがあります。